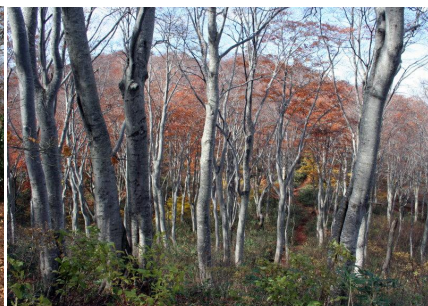


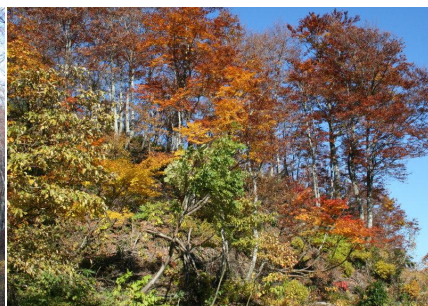
天水山山行記録



天水山山頂



ブナ林間から三方岳



紅葉を撮る

目的地	天水山 (1,088m)	期 日	平成22年11月7日 (日) : 晴れ~快晴
山人	笠原正雄	特 記	信越トレイルの新潟県側の端点の山、県境界を歩く。

地 点 名	時 刻	記 事
与 板 発	午前 6:50 発	R117 から飯山線津南駅前を通り、R405 で一山を越える。途中「樽田の棚田」と言う撮影ポイントもあり、紅葉撮影者もいた。松之山スキー場を左に見て進み、大巖寺高原方向に進む。それを右に見て、更に舗装の林道を先へ進む。
天 水 山 登 山 口 (松之山口)	9:35 歩き出し	数台分の駐車スペースにキャンピングカー1台あり。山伏山方面との三叉路に登山口標柱がある(天水山 1.6 km)。広い山道を、カメラを持った男が入って行ったが、すぐに戻って来た。
ブ ナ 林 の 登 り	9:05	広い道には単車のタイヤ跡があり、地面を傷めている。間もなくブナ林斜面の登りとなるが、落ち葉が登路をいる分りにくくして。
天 水 山 まで 0.9 km	9:50	九十九折れの斜面登りを終え、標柱前に入る。ここから尾根の側道を下り上りしながら進む。朝露で地面が濡れている。
津 南 口 分 岐	9:53	尾根に上がり、左からの道と合わせる。山伏山方面津南口 1.0 km / 天水山 0.7 km の標柱。
県 境 を 行 く	10:00	枝に境界見出標(中部森林管理局)の赤札、地面に国調筆界の杭がある。山頂近くになると急登となり、根につかまりながら登る所もある。一箇所だけ雑木を打ち込んだ階段があった。
天 水 山 山 頂	10:13~10:18	信越トレイルの説明板が置かれている。東に集落が見え、苗場山から佐武流山へと連なっている。その右に見えるのは鳥甲山だろうか。苗場の左奥に見えるのは谷川連峰と思われる。更に左にはブナが邪魔をして見え難いが、沢筋に薄く雪をつけた越後三山が望める。先の深坂峠 4.1 km 方向に向かう。
単 独 男 と 逢 う	10:28	同年代。山中では一人目。多少の登り下りはあるが、概ね平坦な道。
ブ ナ 林 の 下 り	10:30 頃	ブナ落葉の道、右下の山腹は紅葉真っ盛り。但し、ブナが邪魔をして全部は見えない。その先に松之山の集落が見えて来る。進めば三方岳が見えて来た
鞍 部	10:48	一度登って降ろされ、高度計で 1,055m の鞍部に来た。新潟県は切れている。
三 方 岳 1,139m	11:07~12:30	鞍部から登って平らな道となる。少し下がってピークに上り三角点、天水山 2.4 km / 深坂峠 1.7 km の標柱。雑木の中の小広場で展望は無い。快晴となって暖かい。人も来ないだろうと思い、三角点をテーブル替わりに 500 缶でランチ。自家製モツ煮を温める。ランチジャーに詰めた今朝炊いた醤油マンマを食べる。食後 30 分道脇でお昼寝。夫婦者や単独者が来た。深坂峠からの者が多い。
12 人隊とスライド	12:35	年配女性 11 人 + 男 1 人の団体。のち、女 2 人とスライド。
舗 装 林 道 に 降 り る	12:50	左へ行けば野々海池を経て栄村に下りるようだ。右へ 100m で大きな石碑がある深坂峠となる。信越トレイルは西方向に野々海峠へと続いている。
天 水 山 登 山 口 (松 之 山 口)	13:13 着	深坂峠から舗装の林道を下り始めると、左前方に妙高山が見えてきた。その右に僅か火打山が見えたが山の斜面が隠してしまう。一方左方向の山塊は高妻山方面と思われる。 後から年配女性 2 人が乗った車がやって来た。手を上げて乗せてもらう。小千谷の人で、山歩きはしないが紅葉ドライブは良く来るらしい。1 時間の歩きを覚悟していたが、助かった。他にも数台紅葉ドライブ車が来た。
林道大巖寺山伏山線		山伏山方向に進むとすぐに津南口がある。宮野原橋右岸袂で R117 に降りる。

今年7月に、新潟日報から県山岳協会監修で“踏破せよ新潟「百名山」”が発刊された。そこでこの山を知った。
数年前、関田峠から鍋倉山に出掛けている。その時、長野県側の紅葉が素晴らしかった。そこで信越トレイルで繋がるこの山に行くことにした。紅葉時期も終盤で、ブナは落葉していたが、それでも期待していた景色を楽しむことが出来、帰路では何度も車を止めてシャッターを押した。